



議会だより



昨年の南幌高校生ボランティアの様子

第4回 定例会

12月11日～12日

あったか灯油支給事業を実施

12月定例会は12月11日に開会し、町長一般行政報告に続き6名の議員が9項目について一般質問を行いました。その後、功労表彰、条例改正、補正予算など8件を審議し、いずれも原案のとおり同意・可決しました。

12日は指定管理者の指定のほか、意見書案など15件を審議し、いずれも原案のとおり可決・採択し閉会しました。

功労表彰

久世 敏夫さん（73歳）

栄町4丁目

村上 昇さん（66歳）

南13西15

条例制定等

○職員給与に関する条例(改正)

法律の改正に伴うもので

○南幌町地域の元気臨時交付金基金条例(制定)

国の緊急経済対策における地方公共団体の公共投資の負担額等に応じて配分される地域の元気臨時交付金を活用し、町内における経済の活性化及び雇用の創設を図るため基金を設置するものです。

質疑

議員 地域の元気臨時交付金基金の活用については、どのような事業メニューを申請したのか。

副町長 事業内容が公共施設

の修繕等の経費となっていることから、子育て支援住宅の屋根、外壁等の塗装、三重レークハウスなどのトイレ改修を本事業で実施していきま

平成25年度補正予算

○一般会計補正予算(第4号)

歳入では地域の元気臨時交付金、あつたか灯油支給事業に係る地域づくり総合交付金、強い農業づくり事業補助金、強い農業づくり事業補助金、土地売却収入、寄附金の追加。歳出では地域の元気臨時交付金基金積立金、あつたか灯油支給事業、児童手当国庫交付金返還金、強い農業づくり事業補助金(仮称)生涯学習センター耐震改修他工事実施設計の追加に伴うものです。

質疑

議員 あつたか灯油について、今年度「同居する世帯が非課税世帯」を対象世帯に追加したということですが、昨年度は、お知らせが来た方たちの中で、そのお知らせを持って行ったところ該当しませんということがっかりして

帰ってきたということがありました。今年度は、そのようなことがないような配慮は。

保健福祉課長 対象世帯はあ

くまでも非課税世帯です。非課税世帯か課税世帯かというのは、個人情報であるため申請を受けた段階でなければ税務課に照会できないことから、課税状況確認前の対象世帯全てに郵送でチラシと申請書を送付し周知徹底をしてPRしていきます。

○国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

歳入では平成25年度保険税一般・退職被保険者分の減額、保険給付費増額に伴う国庫支出金等の追加、歳出では一般・退職被保険者の保険給付費の増額、基金積立金の減額によるものです。

○下水道事業特別会計補正予算(第1号)

歳入では平成24年度繰越金確定に伴う一般会計繰入金金の減額、歳出では江別市浄化センターへの送水量が夏の長雨により増加したことによる維持管理負担金の追加によるものです。

○農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

歳入では平成24年度繰越金確定に伴う一般会計繰入金金の減額、歳出では施設管理等委託料確定に伴う減額によるものです。

○介護保険特別会計補正予算(第2号)

保険給付費の増額によるものです。

人事案件

○人権擁護委員の推薦

佐藤 正幸さん(70歳再任)

栄町4丁目

一部事務組合関連

○道央廃棄物処理組合の設立

千歳市、北広島市、南幌町、由仁町、長沼町が廃棄物焼却施設の設置、管理及び運営に関する事務を共同処理する一部事務組合を設立するものです。

○南空知公衆衛生組合規約の変更

道央廃棄物処理組合の設立

に伴い、南空知公衆衛生組合の共同処理する事務に係る規約を変更するものです。

質疑

議員 建設予定地がまだ決まっていない中で、計画を立て今すぐ組合を設立するというのは早すぎると思う。今後の人口推移などを十分検証した上で進めるべきではないか。

南空知3町、北広島市は燃えるごみの中に生ごみを混ぜない分別収集を行っているが、千歳市がそれに合わせる形がとれなかったのか。生ごみを燃やす際は、温度や炉を傷めるなどの問題点など十分検証を行う必要があるのではないか。

住民課長

建設用地は未定ですが、今後、構成市町の中から規制の地域等を外した所で決めていくこととなります。協議会については一部事務組合を立ち上げ、その中の議会で検討すべきかと思えます。

千歳市では排出された生ごみを分別せず燃やせるごみとして焼却しています。それと南空知公衆衛生組合3町から出している生ごみを抜いた可

燃ごみを合わせて焼却しては特段の問題は発生していません。ダイオキシンの測定においても基準内です。
千歳市の焼却施設についてはストー力式で3段階で燃やす焼却施設ですので、ごみを乾燥させて焼却するため問題ありません。

町長 組合を設立しなければ、候補地は定まりません。任意の協議会では、なかなか難しい問題です。
各自治体とも経費の削減を考えており、またダイオキシンをどう減らすかという問題や地球環境を良くしていくことも大事な要素であり、それらを踏まえて広域処理体制について関係自治体と協議しています。

焼却方法や選定場所は組合が設立されてから協議されるものと認識しています。

指定管理者の指定

19施設について引き続き平成26年4月から平成31年3月までの期間で指定管理者の指定を行うものです。

質疑

議員 農産物加工施設の指定管理について、今年度の決算委員会ではいろいろの問題点が指摘されたが、指定に当たり意見などを伝えているのか。改善点などへの対応は。

産業振興課長 毎年、指定管理者から事業報告の中で課題も出されます。不都合がある部分については今後も指定管理者に申し入れを行っていきます。

意見書

次の意見書を採択し、各省庁等へ送付しました。

- 森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書
- 特定秘密保護法の凍結を求める意見書
- 生活保護費削減と保護締め出しの制度中止を求める意見書
- 日本型直接支払制度の創設及び経営所得安定対策等の見直しに関する意見書
- 平成26年度畜産物価格決定等に関する意見書

第4回臨時会 11月18日

第4回臨時会は、補正予算1件、工事請負契約の2件が提案され、原案のとおり可決しました。

平成25年度補正予算

○病院事業会計補正予算(第3号)

内科医師の退職及び江別市立病院から常勤医師派遣に伴う人件費の精査によるものです。

○工事請負契約

目的	庁舎耐震改修(外壁・防水・受電設備)工事
金額	5,569万2千円
契約先	勝井建設工業株
※金額変更によるものです。	
目的	庁舎耐震改修(耐震補強)工事
金額	3,958万5千円
契約先	武田建設工業株

議 会 報 告 懇 談 会 の 開 催

医・食・住を語ろう

町議会では、日頃の議会活動などを報告し、町民の皆さんとの懇談の機会を設け、今後の議会活動に反映していくことを目的に、議員による議会報告懇談会を開催します。

どちらの会場でも参加できますので、町民の皆さんの多数のご参加をお待ちしています。



会 場	開 催 日 時	担 当 議 員
夕張太集落センター	2月14日(金) 午後6時～午後8時	熊木恵子 菅原文子 佐藤妙子 川幡宗宏 側瀬敏彦
ビューロー	2月15日(土) 午後2時～午後4時	佐藤正一 本間秀正 石川康弘 内田恵子 志賀浦学
ビューロー	2月16日(日) 午後6時～午後8時	全議員

一般質問

6人の議員が一般質問に立ち、町長の考えをたどりました

問 (仮称)南幌町生涯学習センターの施設整備の考え方は

答 旧校舎を再利用し、有効活用させていく

菅原 文子 議員



菅原議員

旧南幌小学校を、公民館・図書館などの機能を有する生涯学習の総合施設にするよう実施設計に入っています。

①旧校舎の改修工事費用の現在の見積もり総額と、さらに上乗せになる見込みは。

②今後、20年以上の使用を見込んでおられるとされているが、その間の維持管理、修繕費の

町立小学校跡利用実施計画を策定しています。

① 現段階での概算実施設計分としては、約3億4千万円を見込んでいます。さらに改修・整備が必要な箇所もあり、所要工費が別途、見込まれることとなります。

② 改修後の20年、30年間における維持管理費と修繕費の試算については、現段階において基準、目安等の設定が明確でないため困難です。なお、旧南幌小学校における平成23年度の維持管理費をベースに試算した場合は、全体で年間2千万円ほどが見込まれます。

③ マネジメント計画の必要性は感じていますが、公共施設はできるだけ集約したほうが利用しやすいと思いますが、現在の公民館施設の老朽化、図書館機能の向上、郷土資料の展示機能の移転などを考慮し、施設整備を行わない場合を想定した試算は考えていません。今ある施設を再利用し、使用できなくなつた時に、その時代に合った施設を考えたいと考えています。

町長 現在までの経過は、平成24年3月に町立小学校跡利用検討方針を、平成25年5月には

問 通学費補助を拡充しては

答 見直しは行わず、現行の制度で

志賀浦 学 議員



志賀浦議員

本年度から実施している高校生通学費補助事業は、子育て支援政策で進学を選択できる教育環境で子どもたちが成長してもらうことは共感するところですが、通学支援が交通費の定期券購入だけに特化しており、不公平感が残ると思います。

保護者の方から経済的負担が軽減され助かるとの声も聞かれるが反面、「自家用車で駅まで送らなければJR線に間に合わない場合は」夏の間自転車通学だが、雨の日などは自家用車で送っている」等、通学費補助の対象外の問い合わせもある。

この事業が一年経過した後、拡充して見直す考えは無いか伺います。

町長

事業を開始してから半年が経過した中で、当初見込み者数に対して78%の申請があり、事業が浸透してきていると感じています。この事業は、通学に係る費用について客観的に確認するために通学定期券購入という基準を設けて実施しており、自家用車による送迎等は経費が確認できないことから対象としていません。

おおむね生徒の通学支援は図られているものと認識しており、見直しは行わず、現行の制度の中で実施していきま

問 町民健康プールの新設時期は

答 第5期総合計画・後期基本計画
期間内（H26～H28）に建設

熊木 恵子 議員



熊木議員

町長は、次世代につながる夢のある故郷づくり、地域の活性化、町民の健康づくりの促進として町民健康プールの新設を公約しています。町民の健康増進を図ることは、高齢化社会を見据えて計画的に取り組むべき課題だと思えます。乳幼児から高齢者まで利用できるプールの新設は多くの町民が待ち望んでいることです。

先日、政務活動で視察した自治体では、一年を通してプールでの健康教室や健康増進活動を実施し、町民の健康・

生きがいづくりとなっており、国民健康保険税の軽減や医療費の抑制につながっているという実情でした。

プール新設の時期や場所、規模をどのように考えているか伺います。

町長

私の選挙公約の一つに町民の健康づくりの促進として、町民健康プールの新設をうたっています。現在の町営プールは、築45年が経過しているため老朽化が著しく、利用者の安全性や衛生面などから新たなプール建設時期がきていると考えています。

子どもたちが水泳授業などで利用できる競泳用を基本に、健康維持、体力の向上に加え健康づくりを取り入れたプールにしていきたいと考えています。建設時期は、第5期総合計画・後期基本計画期間内に、スポーツセンター周辺を予定しています。プール整備案として、通年型や春か

ら秋まで利用できるプールについて、建設事業費や維持管理費などの比較検討を行っています。



その他の質問

問 町政執行方針で、行政懇談会や故郷ふれあいミーティングを開催するとしている。年に一度は開催し、町民に対して町政の現状や課題を説明し意見交換する必要があると思うが、今年度の開催予定は。

答 必要な機会に主要課題となるテーマを持った懇談会を開催するものとし、通年では故郷ふれあいミーティングや地域担当職員制度などの利用を推進していきます。今年度、行政懇談会の開催は考えていません。

全員協議会

議会全員協議会とは、議員全員が出席して議会で議決すべき事件に該当しない案件について、町政状況の報告を受けたり、議員の自由討議により調査・審議等を行う会議です。10月から12月までの協議事項をお知らせします。

●10月11日

町立南幌病院の診療体制について

医師確保対策について報告を受け、今後の診療体制について協議しました。

南幌温泉の指定管理について

南幌温泉の指定管理、維持管理について説明を受け、今後の方向性について協議しました。

●11月18日

道央地域ごみ処理広域化推進協議会について

協議会の内容、設立スケジュールなどについて説明を受けました。

(仮称)生涯学習センター実施設計について

実施設計内容について説明を受け、今後の方向性について協議しました。

旧夕張小学校跡利用について

今後の公募等の取り組みについて説明を受けました。

南幌振興公社損失補償について

損失補償に係る債務負担行為の期間変更について説明を受けました。

●12月20日

第5期南幌町総合計画・後期基本計画における町長提案の新規事業について

平成26年度以降の新規予定事業について説明を受け、内容について協議しました。

問 子育て世代の誘致を

答 イメージアップにつなげる
新たな施策を検討

川幡 宗宏 議員



川幡議員

本町は人口減少が続ぎ、現在8千2百人台になっていきます。世代間のバランスが良いまちづくりのためには若い子育て世代をターゲットにした人口誘致施策が必要です。

本町には豊かな自然と、子どもたちをのびのび育てられる環境があります。学校教育、社会教育、スポーツ少年団活動など、アピールする点がたくさんあります。子育て世代が目を向けてくれるような施策を提案します。

①役場庁舎内に人口誘致プロジェクトチームを作り、人口

が増えていく自治体の事業を分析し、本町での人口増に向かう体制づくりをすべきではないか。

②子育てのまち南幌の施策を充実させ、インターネット、パンフレットなどで大々的に子育て世代にアピールし、誘致活動を促進することが必要ではないか。

町長

将来的に本町の経済や活力を維持するためには、子育て世代の定住を促進することが重要と考えています。

①来年度から総合計画・後期基本計画を実行する中で、早期に全庁横断的な組織を作り、子育て支援施策や、安心して生活できる定住策を含めたまちづくりの検討を行い「子育てのまち南幌」のイメージアップにつなげたいと考えます。

②みどり野団地販売、企業誘致などの誘致活動や移住促進

を図るべくホームページの充実、メディアの活用を含め必要な情報発信に努めます。



その他の質問

問 きらら街道について

①今後の整備計画をどのように考えているか。

②道道に昇格要請するという方法もあると思うが、江別市や関係町また北海道との話し合いの場を持つ考えは。

答 ①本町単独での整備は多額の事業費が必要で、現在のところ難しいと考えます。

②道道昇格のためには、近隣市町と連携し、北海道に対して要望活動を行う必要があります。今後、近隣市町の意向を確認していきます。

議員会議出席状況 (平成25年1月～12月)

	定例会・臨時会						委員 会	開催内訳					
	開催日数	出席内容			出席日数計	欠席		総務	産業経済	議会運営	広報特別	開催内訳	
		全日出席	遅刻	早退								予算審査	決算審査
熊木 恵子	12	11			11	1	49	46			46		3
佐藤 正一	12	12			12		46	46			46		
菅原 文子	12	12			12		53	52			52		1
本間 秀正	12	12			12		37	34		1	35		2
石川 康弘	12	11			11	1	35	34			34		1
佐藤 妙子	12	12			12		49	49			49		
内田 恵子	12	12			12		46	46			46		
川幡 宗宏	12	12			12		46	42	1	1	44		2
志賀浦 学	12	12			12		45	42		1	43		2
側瀬 敏彦	12	12			12		12	12			12		

※委員会については、議員の所属する委員会がそれぞれ違うことから開催日数が異なります。
※同日に複数の委員会開催の場合、出欠内容ともにそれぞれ1日としています。

問

災害に強い環境をつくる
まちづくりを

答

隣近所相互の見守りが大切

内田 恵子 議員



内田議員

気仙沼市で、震災復興状況とまちづくりについて視察し、職員が不足する中ハード・ソフト面を併せ、さらなる地域防災力向上を目指す政策を進める姿に胸が痛みました。

①本町で想定される災害に対し、高齢化が進む中でコンパクトにまとまったコミュニケーションが被害の軽減を図る上で欠かせないと思います。向こう三軒両隣のな地域密着性の高い地域づくりが災害に強い環境と考えるが。

②災害の記憶が薄れることなく後世に伝える仕組みを築き、子どもたちの自然災害に

対する畏敬の念を育てることが必要と考えるが、今後の方策は。

③気仙沼市民によると、困ったのは電気とのこと。本町も災害時において発電機に不足が生じた場合、ポータブル発電機を所有する町民に協力の呼びかけは。

④町内のイベント等を利用して町で備蓄している飲食物品を更新する考えは。

町長

①防災に限らず安全・安心なまちづくりを進めるには、隣近所相互の見守りも大切なことです。特に、自主防災組織には欠かせない要素となっているので、いま一度ご近所や地域とのお付き合いの大切さを再認識いただくことを含め、防災意識の啓蒙に努めます。

②自分の身を守る大切さについて防災教育を実施しています。日頃から防災を意識することが重要であり家庭、地域

においても話題として取り上げていただけるよう啓発に努めます。

③今後、先進地事例などを参考に検討します。

④防災用食料品の中には、賞味期限が1年半から5年近くの物まで多様であることから、今後も、地域の防災行事などを通じ活用させていただき、防災意識の向上に努めます。



10月から12月までの協議事項をお知らせします。

総務常任委員会

○議会報告懇談会について

議会運営委員会

○定例会の運営について

○意見書の取り扱いについて

南幌町活性化特別委員会

○議会報告懇談会、議員研修、意見書の取り扱いについて

○町立南幌病院について

視察対応状況 南幌町の取り組みが注目されています

平成25年は、全国の9議会から南幌町の先進的な取り組みについて視察依頼があり、町議会、町担当職員で対応していますので概要をお知らせします。このことは、本町の各施策が注目されている表れであり、今後とも積極的に視察を受け入れ情報発信を行ってまいります。

議会名	日時	視察内容	来町人数	議会対応者	町対応者
宮城県大郷町議会	6月24日	高齢者が安心して暮らせる地域への取り組み	議員7名、職員1名	議長 総務常任委員長	町長 保健福祉課
神奈川県愛川町議会	7月11日	ベレットを利用した地域循環型システム構築	議員4名	議長 総務常任委員長	副町長 まちづくり課
熊本県玉東町議会	8月6日	介護保険事業、移住定住促進	議員9名、職員3名	議長 総務常任委員長	町長、住民課、まちづくり課、保健福祉課
福島県川俣町議会	8月21日	あんしんキット配布事業、配食サービス事業、らくらく移送サービス事業	議員5名、職員2名	議長 総務常任委員長	副町長、保健福祉課、町社協
北海道滝上町議会	8月28日	町立病院の運営等	議員7名、職員2名	議長 総務常任委員長	町長 町立病院事務長
北海道富良野市議会	10月2日	地域担当職員制度、町内会加入促進に対する支援	議員6名、職員1名	議長 総務常任委員長	町長 まちづくり課
奈良県河合町議会	10月9日	小学校の統廃合	議員7名、職員1名	議長 総務常任委員長	町長、教育長 生涯学習課
宮城県栗原市議会	10月16日	稲わらを活用した固形燃料製造・利活用の取り組み	議員6名、職員1名	議長	町長 まちづくり課
広島県坂町議会	11月27日	子育て支援のまちづくり	議員9名	議長 総務常任委員長	町長、保健福祉課、 生涯学習課

問 移住体験住宅の早期改善を

答 平成26年度予算で修繕を検討

佐藤 妙子 議員



佐藤議員

移住体験事業として短期間、南幌町に住んでいたが町の良さを知ってもらい、それを移住促進につなげるために様々な取り組みをされています。

①6年間で65組が体験され、1組の移住という成果に対して今後の移住拡大に向けてどのように進めて行く考えがあるか。

②移住体験住宅は老朽化により、特に壁やドアの劣化が見受けられます。町外から来られる方には本町を知っていたく最初の施設でもあり、今のままでは、本町の第一印象に与える影響が懸念されるた

め早期の改善が必要ではないか。

町長

本町は元町2丁目の旧教員住宅の平屋建て2戸を活用し、平成19年から移住体験事業を実施しています。

①この事業は、移住への即効性を期待するものではなく、まずは本町を知ってもらうことが重要です。これまでの事業実績と、今後の新たな住宅の費用対効果を踏まえて、利用者アンケートによる冬期間の生活に対する不安を解消する手法、施策の検討を進めるとともに、町民との交流の機会を設けるなどの事業展開を図っていきます。

②移住体験住宅はこれまででも修繕を行ってきていますが、築37年が経過し、老朽化が進んでいる状況です。平成26年度予算において外壁、屋根、ドア塗装修繕を検討しています。



移住体験住宅

その他の質問

問 ふるさと納税について
①納税いただいた方についての対応をしているか。
②納税の使い道として、どのような活用をしたのか。
③特典として、本町の特産品を付けては。

答 ①納税いただいた方に御礼状と、町民には広報でお知らせしています。
②福祉のまちづくりなどに活用しています。
③特産品のPRという側面もあることから、先進事例を参考に検討します。

まちのがんばり屋さん

議会だより表紙の「南幌町で頑張る人」を紹介します。

南幌高校生徒会副会長、ボランティアで活躍
瀬川 紘平さん（南幌高校1年生）



生徒会で取り組んでいるボランティア活動で、花壇整備や養護学校でのふれあい交流などに参加しています。昨年6月に行われた福島の子どもを南幌によぶコンサートでも受付などで活躍してくれました。今年の冬は、高齢者住宅の除雪にも積極的に関わりたいと話し、ボ

ランティアは特別なことでなく自然に参加していて交流がとても楽しいと爽やかな笑顔を見せてくれました。「将来は自動車整備の仕事がしたい」「南幌が大好きだからずっと住みたい」と語ったまちのがんばりや君。将来の夢に向かってがんばれ！

議会広報委員：熊木 恵子



用語豆辞典

ふるさと納税

ふるさと（自分が貢献したいと思う都道府県・市区町村）への寄附金で、個人が2,000円を超える寄附を行ったときに、住民税（5,000円を超える部分）と所得税（2,000円を超える部分）から一定の控除を受けることができる制度です。寄附先に定義はなく、出身地以外でも「お世話になったふるさと」など、自由に選ぶことができます。

寄附先の地方公共団体では、寄附された方に対し、各地の特性を生かした特典などを用意している例があります。